



信州駅伝だより

信州駅伝サポート会
会報 第2号

◆発行日 令和元年10月30日 ◆発行所 信州駅伝サポート会
◆発行人 伊藤 利博 ◆編集人 町田 晓世・丸山 健志
◆URL: <http://nriku.jp/> ◆E-mail:info@nriku.jp

NPO法人信州駅伝サポート会発足のご挨拶

秋冷の候、貴台におかれましてはますますご健勝のことと拝察します。

この度の台風19号の被害に遭われた方には、お見舞い申し上げます。

信州駅伝サポート会を設立して3年目に入り、6月末にN O P 法人に認証され、公の団体として活動する事になりました。これも偏にご支援をいただいた皆様方のお蔭と心から感謝申し上げます。

平成30年は、大口の寄附金が無く、贊助金も前年よりもやや少額でしたが、会員数はほぼ同数でしたので、前年度と同様に全国へ出場したチーム及び長野県の代表チームへ贊助金を贈呈する事が出来ました。

昨年の大会を振り返って見ますと、全国中学駅伝では、川中島中学校男子チームが9位と入賞こそ逃しましたが大健闘でした。全国高校駅伝では、長野東高校が二年連続準優勝の快挙。男子の佐久長聖高校が5位入賞と大活躍してくれました。都道府県対抗駅伝では、女子が長野県チーム初の6位入賞、男子は最後まで優勝争いを演じて、堂々3位入賞を果たしました。

これらの活躍は長野県民はもとより全国の信州駅伝ファンに多くの感動と勇気を与えてくれました。この活躍の原動力は、賛助会員の皆様方のご支援の賜物です。チームの皆さんと共に感謝の気持ちで一杯です。いよいよ令和新時代の駅伝シーズンを迎えます。今年も信州駅伝チームの選手・指導者が更なる飛躍の基礎となる皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



信州駅伝サポート会
理事長 伊藤利博

佐久長聖高校・長野東高校へ信州駅伝サポート会 激励訪問

信州駅伝サポート会 副理事長 浦野 義忠

令和元年度「信州駅伝サポート会」が特定非営利活動法人として認証され、県民協働課あてに設立登記完了の届出をして正式に、認可されました。

「駅伝王国長野」と、日本陸連尾県貢専務理事をはじめ多くの方々から呼ばれるようになりました。その所以は、広島県で開催の全国都道府県対抗男子駅伝での、全国最多を誇る7度の優勝、男子佐久長聖高校は全国高校駅伝2回の優勝、女子長野東高校の全国高校駅伝2年連続準優勝、東日本女子駅伝では優勝2回、更に全国都道府県対抗女子駅伝で昨年度過去最高の6位入賞を果たし、メダル獲得も実現できる勢いが見てきました。このような、輝かしい成績と実績を樹立しました監督・コーチ・スタッフの皆さんに絶大なる感謝を申し上げたいと思います。

信州駅伝サポート会は、多くの賛助会員の皆様のご支援・ご協力を頂き長野県内で活動する駅伝選手、長野県を代表して全国大会等に参加する駅伝選手、及びその指導者等に対して支援する事業を行ってまいります。昨年に引き続きまして9月吉日に、佐久長聖高校・長野東高校に信州駅伝サポート会より伊藤利博理事長と共に訪問し、激励と激励金を贈呈してまいりました。



佐久長聖高校 堀内浩彦先生へ (浦野、伊藤、堀内教頭先生、高見澤勝監督)



長野東高校 玉城良二監督へ (左から 伊藤、浦野、藤井昭一校長先生、玉城監督)

長野東高校の活躍 第31回 全国高校駅伝競走大会を目指して

長野東高校 駅伝部主将 小原 茉莉

開催日 2019年12月22日(日)

日頃から長野東高校女子駅伝チームへの心温まるご支援をいただき、本当にありがとうございます。皆様のお陰で、日々の練習環境が整えられ、夏の強化合宿や様々な大会遠征のすることができました。

今年の12月22日に行われる全国高校駅伝において、チーム目標である「5位入賞」を目指し、一人一人が強い想いを持って臨み日々チーム力の向上を図ります。そして、12名の部員と支えていただいている皆様の想いを繋ぐ粘り強い駅伝をしたいと思います。

皆様に結果で恩返しをすることができるよう頑張ります。今後も応援、ご支援よろしくお願ひいたします。

佐久長聖高校の活躍

佐久長聖高校 駅伝部主将 鈴木 芽吹

私たち佐久長聖高校駅伝部は、2年ぶり3回目の全国高等学校駅伝競走大会での優勝を目指し日々の練習に励んでいます。

昨年の全国高等学校駅伝競走大会では5位という結果に終わり、目標としていた5位以内は達成したものの、連覇を逃した悔しさを大きく感じました。この悔しさを胸に、次は絶対に優勝しようという思いで新チームがスタートしました。

しかし、その思いとは裏腹に、思い通り走れない者が多くて結果を出していくことができず、チームの雰囲気は下がっていく一方でした。特に全国高校駅伝の前哨戦といわれる春の高校伊那駅伝や、夏のインターハイでも思うような結果が出せず、心の焦りもありました。

そんな中、私たちが夏合宿の中で重要視している菅平高原での合同合宿で、7泊8日間という長い期間の合宿ではありましたが、ほとんどの部員が練習メニューをこなすことができ、チームとして充実した合宿になりました。その成果として、9月の記録会では多くの者が自己記録を更新し、10月に行われた駅伝大会では、全国の強豪校集まるなかで優勝することができました。これによって、徐々にチーム内に勝つための雰囲気が出てきました。

まずは11月3日に行われる長野県高等学校駅伝競走大会で22連覇を達成して、全国大会での王座奪還を目指して頑張りますので、今後ともご支援よろしくお願ひいたします。

山形小学校ヤマリククラブ

選手代表 上條 佑依

私達、山形小学校ヤマリククラブは、多くの方々のおかげで12月9日に行われた日清食品カップ全国小学生クロスカントリーリレー研修大会に出場することができました。

昨年7月に行われた白馬スノーハーフ駅伝大会で県内2位という結果でした。そのため12月に行われた日清食品カップ全国小学生クロスカントリーリレー研修大会に出場することができました。

学校では、月水金の朝に練習をして、土日はスカイパークで練習をしてきました。どれだけきつい練習でも、送り迎えや応援してくれる家族がいてくれたからこそ、ここまでこれました。

本番は、皆とても緊張していました。まずは友好タイムトライアルレースが行われました。私たちのチームの二人は36位と39位でした。

その後、すぐに駅伝の一区の人達がスタートしました。私たちのチームは一列目の真ん中からスタートすることができました。周りのチームは最初からとっても速くてびっくりしました。結局、私たちのチームは総合31位で、タイムは33分28秒という結果でした。チーム全体の目標には届きませんでしたが、個人の自己ベストを更新した子や区間3位という子もいました。私たちはあまり体験できないことを体験させてもらうことができました。

これからは、おたがい中学校に進学したりと進む道はそれぞれ違いますが、しっかりと頑張っていきたいと思います。



川中島中学校 男子・女子 第26回 全国中学校駅伝大会出場

悔しかった全中駅伝9位

川中島中学校 男子駅伝チーム

キャプテン 丸山 翔平

信州駅伝サポート会の皆様、日頃からのご支援、心から感謝しております。

私たち川中島中学校男子チームは、県中駅伝で優勝し、全中駅伝に出場しました。私たちは「全中駅伝入賞」という目標を掲げ、つらい練習も乗り越えてきました。大会4日前に現地入りして調整をしました。前日にメンバー変更がありました。しっかりと準備・調整ができていたので、「絶対入賞する」という強い気持ちでレースに臨みました。12時15分に男子の部がスタートしました。私はエース区間である1区を走らせていただきました。19位で2区に襷をつなぎました。2区の吉岡が5位まで順位を上げ、一時は3位まで上がったけれど、その後順位を落としてしまい、総合9位という結果でした。目標であった入賞にはあと一步届きませんでした。この悔しさを忘れず、来年はさらにレベルアップした川中島中で全中入賞を絶対に達成してほしいです。応援、ありがとうございました。



2018年 12月16日

8人の思いをつないだ全員駅伝

川中島中学校 女子駅伝チーム

キャプテン 宮澤 実亜

信州駅伝サポート会の皆様、日頃から心温まるご支援をいただき、ありがとうございます。

私たちは、12月16日に滋賀県で行われた全中駅伝に出場させていただきました。結果は28位と前回を10位上回ることができました。私たちが掲げていた20位以内という目標を達成することはできませんでしたが、ひとり一人が精一杯の力で走り抜くことができました。このメンバーには全国で戦える強い選手はいませんが、全員で全力でつなぐ駅伝をすることができました。

たくさんの方々に支えていただき、応援していただき、全国の舞台で貴重な体験をさせていただきました。この経験を糧として、これから練習に繋げていきます。これからも、ご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



第37回 全国都道府県対抗女子駅伝競走大会応援ツアーに参加して

2019年 1月12日(土)~13日(日) 1泊2日

長野市 宮尾 文雄

私は、駅伝で長野県選手が活躍するのを楽しみに応援しています。少しでも長野県の駅伝選手のお役に立てればと思い、信州駅伝サポート会に入りました。

今回、サポート会から応援ツアーのご案内を頂き、できれば間近で応援したいと思っていましたので思い切って申込みました。しかしながら、今まで陸上競技の経験もなく、陸上関係者に知り合いもいませんでしたので、応援ツアーへ参加することに多少不安もありました。

当日は少し緊張してバスに乗り込みましたが、伊藤理事長さんからいただいた差し入れをご馳走になつたり、深井事務局次長さんから旅行パンフレットの説明を聞いたりしているうちに緊張もほぐれました。特に、三十三間堂や清水寺の見学では、他の参加者とも段々お話しをするようになり、楽しい旅行となりました。なお、夜は各自での食事のため、交流する機会が減ってしまったのは少し残念でした。バスで隣の席の方と一緒に食事をしたので楽しかったのですが、参加者の皆さんと一緒に食事ができれば、なおよかったですかなと感じました。

二日目は、いよいよ応援本番ということで気分も盛り上がり、会

場へ向かう途中でも皆さんと駅伝など色々の話ができるよかったです。西京極陸上競技場に着いた際には、サポート会の町田事務局長さんや県人会の皆様に歓迎していただき嬉しかったです。私は最初に第3中継所付近で応援しましたが、沿道で選手を間近に観て応援することができ念願が叶いました。コース応援ではバスで送迎していただき、お陰様で大変快適に応援することができました。その後、競技場で応援しましたが、細田選手が入ってきたときには最高に盛り上がりました。

また、競技終了後には、町田事務局長さんに選手たちの待機場所まで連れてっていただき、選手と言葉を交わして一緒に写真を撮影することができ、また、玉城監督とも握手することができ大変感激しました。長野県の成績も過去最高ということで、私にとっては最高の応援ツアーになりました。

最後に、とてもよい応援ツアーを企画していただいた伊藤理事長様をはじめ信州駅伝サポート会事務局の皆様に感謝いたしますとともに、同行していただいた深井事務局次長様には色々面倒を見ていただき、心からお礼申し上げます。

これを機会に、長野県の駅伝をさらに応援していきたいと思いますので、何卒よろしくお願ひいたします。

私はコースに出て応援しましたが、コース近くまでツアーバスで行き、道路上で応援できたことは大変有意義でした。

大会の成績は過去最高の6位入賞となり来てよかったですと喜んでいました。応援ツアー最後に、選手・監督と合え、また記念写真が撮れたことは最高でした。帰りのバスでは、お土産等を買ながらの帰郷となりましたが、添乗員が慣れないなか、スムーズにツアーガができたことは、皆様に感謝いたします。

最後に、ツアーバスの運転者さんが、私たちのご無理をいろいろ聞いて頂きました。また応援に行きたくなりました。

応援ツアー

第38回 全国都道府県対抗女子駅伝競走大会(京都)

- ◆旅行期間 2020年 1月11日(土)~12日(日) 1泊2日
- ◆参加人数 30名様(添乗員同行なし) ◆集合場所 長野駅(6:45)
- ◆京都女子駅伝ツアー(バス)1泊2日 30名参加で、約25,700円

日次	月日曜	行程	食事
1 1/11 (土)		J R長野駅：東口ユメリアバスバーク==== J R松本駅：アルブロ===== 7:00 8:20 朝：各自 昼：各自 夕：各自 ◎信州駅伝サポート会事務局員が同行します。(チーム説明会) ====伊那 I C入口=====飯田 I C：りんごの里=====《途中SAで自由昼食》===== =====京都市内：三十三間堂=====清水寺(お買物)=====ホテル 14:15 14:45 15:00 17:00 17:15	
2 1/12 (日)		貸切バス ホテル====全国都道府県対抗女子駅伝大会 応援===== 9:30 10:00 ○長野県チーム激励 ○県人会ブース訪問 西京極運動公園12:30スタート ②貸切バス利用無料でコース応援(第3・第7中継所付近) ※コース応援は事務局員が同行します。 西京極運動公園=====飯田 I C：りんごの里=====伊那 I C入口===== 16:00 19:30 20:10 =====J R松本駅：アルブロ===== J R長野駅：東口ユメリアバスバーク 21:00 21:50	

本年度も計画しました

第25回 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(広島)

- ◆旅行期間 2020年 1月18日(土)~20日(月) 2泊3日
- ◆参加人数 15名様(添乗員同行なし) ◆集合場所 長野駅
- ◆広島男子駅伝ツアー(列車)2泊3日 15名参加で、約56,000円

日次	月日曜	行程	食事
1 1/18 (土)		しなの 6号 長野-----松本-----塩尻-----名古屋-----広島 9:00 9:50 10:03 12:01 12:13 14:26 のぞみ 25号	朝：各自 昼：各自 夕：各自
2 1/19 (日)		12時30分スタート [雨天決行]	朝：各自 昼：各自 夕：各自
3 1/20 (月)		のぞみ 16号 広島-----名古屋-----塩尻-----松本-----長野 10:17 12:30 13:00 14:52 15:03 15:55 しなの 13号	朝：各自 昼：各自 夕：各自

第24回 全国都道府県対抗 男子駅伝競走大会(広島)

チーム長野

祝賞会

平成31年1月20日

於 広島市文化交流会館



表彰式



3位入賞 祝勝会(在広島信州県人会主催)

皇后杯 第37回 全国都道府県対抗 女子駅伝(京都)

過去最高位 6位入賞

2時間17分47秒

**記録は昨年の第36回大会と
同記録 過去最高タイ記録**



賛助会員名簿

(敬称略・順不同)

賛助会員(個人)	唐澤君雄	諏訪光昭	増田憲寛	賛助会員(団体)
赤澤喜夫	川上佳明	瀬木潔	町井秀明	(株)アイワ徽章
赤羽福次郎	北澤健司	千代馨脩	松井志げ子	(有)青木設備
甘利譽司三	北澤吉三	袖山正廣	松尾稔	(株)アニヴェルセルHOLDINGS
有川効	北島隆英	高野正己	松川文夫	E-NAGANOスポーツクラブ
石澤由祐	北島喜久子	高橋正夫	松原章祐	飯山高等学校陸上競技部
石田和彦	北原和子	田上仁	丸山隆義	春の高校伊那駅伝実行委員会
市川広徳	北原勲	滝口文雄	水無瀬圭一	(有)海野鉄筋工業所
市川武	北村正博	滝澤幸造	三石邦英	奥村産業株式会社
市村武文	木下純市	竹内万祐	宮入保	木下建工(株)
一本鎗武夫	久保寿徳	田澤稔	宮尾文雄	京都長野県人会
居鶴貞美	熊谷賢二	田中浩	宮澤昌嗣	清沢土建株式会社
伊藤和喜	黒岩直視	玉城良二	宮下文雄	(株)長野ホテル犀北館
伊藤友幸	小池幸子	茅野繁巳	宮下彰	佐久市議会スポーツ振興議員連盟
伊藤喜美子	小出洋平	茶城啓二	宮下文雄	株式会社システック
伊東靜雄	高坂昌利	中條秀樹	宮島義征	有限会社シナノ体器
伊東智恵子	神津晴通	津金直行	宮本正之	しなのメイト(株)
伊東一雄	小幡泰俊	土川國人	盛岡厚志	芝上建設株式会社
伊藤直治	小林計夫	徳武雄次郎	矢嶋誠	株式会社ジヨグ
伊藤充	小林邦敏	伴野正則	柳義幸	株式会社真設
伊藤功	小原修	中島利一	柳澤瑞樹	(有)シンヨー急送
鳶巣宏臣	駒澤安正	中島崇樹	柳平幸男	須坂上高井駅伝部選手会
内山英雄	小松茂美	中原由紀子	山岡清孝	高木建設(株)
海野竹雄	五明豊	西澤民雄	山岸忠	有限会社タケシゲ
江橋邦男	小山保高	西澤篤子	山口稔	テラシマ理容店
大出美晴	酒井剛	西澤敏	山崎裕史	株式会社テレビ信州
大島幸子	佐藤悦夫	西沢健三	山田孝久	東海大学陸上競技部
太田龍朗	佐藤立至	西村千代松	山田信司	株式会社中澤塗装
太田圭治	澤渡知成	長谷川信彦	山本晴雄	中野土建株式会社
太田豊	塩垣久美子	早川幸	山本一雄	名古屋長野県人会
大月良則	篠原道正	林嘉久夫	由井正巳	(株)白馬スポーツフィールド
大西健文	柴澤英男	半田直道	横川佐知雄	在広島信州県人会
大橋聖一	清水卓爾	日詰文弘	横沢了	富士見高原リゾート(株)ジェネス八ヶ岳
大日向暁子	清水るみ子	ビル・レッティー	横地京子	藤森土木建設株式会社
小川裕樹	下平明彦	深澤禱昌	芳川千恵	三水丸山農園
荻原慎	白澤禎介	深澤一渡	吉澤仁	株式会社メディアーク
尾崎光治	城田忠承	藤井昭一	依田昭次	(株)ヤマウラ
長田泰明	白鳥博文	藤澤由季江	依田英和	渡辺商事(株)
小田切勝彦	白鳥隆夫	保坂松雄	米山順	芝上建設株式会社
加鳥順子	新保則夫	細田完二	若林三紀夫	
お食事処かねき	杉田兼子	細田紀一	和田泰正	
金木忠治	杉本幸治	堀内幸芳	渡邊洋征	
金子隆三	杉山史良	前島愛子		

○上記、会員名簿につきましては、公開の了承を頂いた方のみの掲載となっております。



**信州駅伝サポート会
収支決算報告**

収入金額 2,101,007 円

支出金額 1,872,749 円

差引金額 228,258 円

(単位:円)

項目	決算額	前年度決算額	差額	説明
I 収入の部				
1 会費、入会金収入	1,631,000	1,890,000	△ 259,000	
2 事業収入		0	0	
3 寄付金		1,200,000	△ 1,200,000	
4 捐助金・交付金		0	0	
5 雑収入		65,001	△ 65,001	
利息	3	1	2	利息
雑収入		65,000	△ 65,000	
当期収入合計(A)	1,631,003	3,155,001	△ 1,523,998	
前期繰越収支差額	470,004	0	470,004	
収入合計(B)	2,101,007	3,155,001	△ 1,053,994	
II 支出の部				
1 事業費	1,589,197	2,060,562		
(1)広報普及事業費	212,220	181,652	30,568	チラシ他
(2)駅伝支援事業費	1,076,737	1,570,800		支援金等
①県内駅伝チームサポート(高校生、中学生、小学生)	21,956	0	21,956	県縦断駅伝、市町村対抗駅伝(新人賞)
②都道府県対校駅伝支援	200,000	500,000	△ 300,000	男女チーム
③東日本女子駅伝支援	0	100,000	△ 100,000	
④全国高校駅伝支援	550,000	600,000	△ 50,000	男女チーム
⑤全国中学駅伝支援	100,000	100,000	0	男女チーム
⑥全国小学生駅伝支援	50,000	0	50,000	男女チーム
⑧活躍報奨金	70,000	270,800	△ 200,800	区間賞等
⑨全国大会応援支援	84,781	0	84,781	京都応援ツアー補助、差入れ
⑩その他この法人の目的を達成するために必要な事業	0	0	0	
(3)激励事業費	156,560	93,730		
①旅費	140,560	85,730	54,830	都道府県2名、高校駅伝1名=3名
②県人会支援費	16,000	8,000	8,000	京都・広島県人会(参加費)
(4)医事事業費	40,000	0	40,000	都道府県駅伝(男子・女子)マッサージ
(5)用具整備事業費	103,680	214,380	△ 110,700	応援タオル・シール
2 管理費	283,552	607,803		
(1)人件費	47,000	128,000	△ 81,000	事務局員日当@1000×47H
(2)会議費	91,520	191,400	△ 99,880	諸会議会場費等
(3)通信・運搬費	65,796	107,809	△ 42,013	郵便料他
(4)消耗品費	54,304	110,792	△ 56,488	事務用品等(封筒、ラベル)
(5)旅費交通費	0	52,250	△ 52,250	
(6)賃借料	22,000	0	22,000	ホームページ立上・管理更新
(7)雑役務費	1,740	540	1,200	法人登録料、振込手数料
(8)雑費	1,192	4,212	△ 3,020	印鑑手帳、電報代
3 予備費	0	12,800	△ 12,800	
当期支出合計(C)	1,872,749	2,668,365	△ 795,616	
当期収支差額(A)-(C)	△ 241,746	486,636	△ 728,382	
次期繰越収支差額(B)-(C)	228,258	486,636	△ 258,378	

会計監査報告書

会計監査

監事

令和元年9月6日
高島陽子
印

監事

九山健児
印

平成30年11月30日～令和元年9月6日の期間の会計全般について監査した結果、各項目について適切に事務処理されていることを認めましたので報告いたします。

NPO法人 信州駅伝 サポート会 役員名簿

役職	氏名	役職	氏名
理事長	伊藤 利博	理事	西澤 正隆
副理事長	浦野 義忠	理事	柳島 良明
理事	石坂 克彦	理事	渡邊 一正
理事	内山 了治	監事	高島 陽子
理事	長田 雄介	監事	丸山 健志
理事	葛城 光一	顧問	萩原 清
理事	藏谷 伸一	事務局長	町田 晓世
理事	土屋 健治	事務局次長	深井 郁夫
理事	富松 健夫	事務局次長	北島 正孝
理事	中島 君忠		

お悔やみ



私たちは、三名の皆様からご教授いただいた駅伝サポート会の意志をしっかりと受け継ぎ、長野県下の駅伝指導者、選手達のために、NPO法人信州駅伝サポート会の更なる活動を続けてまいりたいと思います。

合掌

深澤 一渡 様 (飯田市)

令和元年5月3日 80歳

深澤様は、信濃毎日新聞に信州駅伝サポート会を設立した事が掲載された日に、私の携帯電話に、「よくぞこの会を立ち上げてくれた」と、励ましの一報を頂いた方でした。見ず知らずの方から、この様な嬉しい電話を頂き、大変心強く感じました。早速賛助会員としてご加入頂き、会員の心情を大切にする立場から、時には厳しいお言葉で励ましをいただきなど、何かとご指導をいただきました。

昨年、長野県縦断駅伝の飯田市のフィニッシュ地点で、初めて深澤様にお会いする事が出来ました。その際、高額な賛助金を頂きました。令和に入った5月3日に帰らぬ人となってしまいました。

信州の駅伝を愛し、支えるスポーツ文化に理解があり、この会の発展を心から望んでいた深澤様がお亡くなりになったことは、大変寂しく残念で仕方がありません。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

山寺 喜一 様 (駒ヶ根市)

平成30年12月27日 69歳

長野県縦断駅伝の上伊那チームのエースとして、第16回大会～20回大会まで出場しました。最後の20回大会では、第2区(上大島～駒ヶ根)19.5 km の長丁場で区間優勝し、上伊那チームの優勝に貢献しました。現役を退いた後も、養命酒の実業団チームのためにご尽力されました。駅伝を愛し、信州駅伝サポート会の発展を心から望んでおられた山寺様がお亡くなりになり、大変残念です。心よりご冥福をお祈りいたします。

久保 寿徳 様 (長野市)

令和元年8月1日 82歳

長野県縦断駅伝には、10回大会から17回大会まで8年連続で上水内チームの選手として、出場しました。当時は今と違って6～7位と高順位を維持しておりました。現役を退いた後は、審判員として大会に参加され、長野マラソンの審判にも毎年出席していただきました。今年も出席する予定でしたが、一週間前に病で出られない連絡があり、心配しておりますが、帰らぬ人となってしまいました。駅伝を愛し、1月にも京都女子駅伝の応援ツアーにも参加されたいと信州駅伝サポート会にご協力をいただいた久保様の死は、ほんとうに寂しく思います。心よりご冥福をお祈りいたします。